

スウェーデン（2023 年度）

- [国・地域別情報トップページへ](#)
- [各国・地域情勢](#)
- [在スウェーデン日本国大使館](#)

- 2021 年度日本語教育機関調査結果
- 日本語教育の実施状況
- 教育制度と外国語教育
- 学習環境
- 教師
- 教師会
- 日本語教師派遣情報
- シラバス・ガイドライン
- 評価・試験
- 日本語教育略史

1.2021 年度日本語教育機関調査結果

機関数	教師数	学習者数								
		合計	初等教育		中等教育		高等教育		その他教育機関	
			人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
18	45	1,471	126	8.6%	236	16.0%	948	64.4%	161	10.9%

（注）2021 年度日本語教育機関調査は、2021 年 9 月～2022 年 6 月に国際交流基金（JF）が実施した調査です。また、調査対象となった機関の中から、回答のあった機関の結果を取りまとめたものです。そのため、当ページの文中の数値とは異なる場合があります。

[「海外日本語教育機関調査」のページへ](#)

2.日本語教育の実施状況

全体的状況

沿革

スウェーデンにおける日本語教育は、1956 年にウプサラ大学で日本語講座が開始され、1963 年にストックホルム大学、1974 年にヨーテボリ大学、1980 年にはルンド大学で日本語講座が開始された。

中等教育段階では、1986 年にウメオ（スウェーデン北部）のオストラ高校において、中等教育で初めて日本語が第三外国語として選択可能となったが、1990 年代半ばより、日本語を選択できる高校が地方にも広がっていった。また、2005 年にはスキュールupp（スウェーデン南部）のマクリーン中学校で初めて日本語が第三外国語として選択可能となり、日本語学習者層に広がりを見せている。

背景

スウェーデンでは、以前は、東洋文化といえば中国、インド、アラビアの文化に代表されていたが、1970年代から、日本の経済成長に関連し、日本文化（文学、茶道、生け花、アニメ、マンガ、J-POP、ファッション、武道、折り紙、日本映画、食文化など）が広まり、日本語への関心が高まった。また、国際結婚により日本人と親戚関係を有する者、旅行、留学、インターネットなどを通して日本人と友人関係をもつ者が増えてきたことも、日本語への関心を高める要因の一つとなっている。

特徴

日本語教育は中学校、高等学校、大学、生涯教育機関などにおいて、さまざまな形で行われてきており、また充実している。

教育段階別に見ると、大学における日本語教育が最も盛んで、夜学、通信教育も人気がある。短期、長期に関わらず、一度、日本に留学した学生は、その後も日本と関わる傾向にある。

マンガやアニメ、また日本のテレビゲームや武道に関心の高い男性の学習者が急増し、学習者全体の男女比が不均衡であったが、ファッション、音楽、マンガ、ゲームに興味を示す女性学習者数が増え、男女比は是正されてきている。

ここ数年、自然科学部門においてノーベル賞受賞者を多数輩出している国として、スウェーデンにおける日本への関心が高まっており、今後も日本語学習を希望する要因となると予想される。

日本語学習者が日系企業などへの就職を望んでも就職先が限られているのが現状である。一方、帰国した元留学生が自ら就職先を日本で探し、就職した例も多数見受けられる。

最新動向

- 日本の若者文化・ポップカルチャーの高い人気によって、学校教育以外の夜間コースでは小・中学生のクラスが年々増加している。
- 高校では、現行の成績システムの影響で、フランス語、ドイツ語、スペイン語など外国語を選択する学生数が大幅に減少しているため、大学入学の際、高校で外国語を選択する生徒が有利となるような成績システムになっている

教育段階別の状況

初等教育

日本語教育の実施は確認されていない。

中等教育

中学校では、スウェーデン南部の学校が 2005 年秋に、スウェーデンで初めて日本語を第三外国語として採用した。

高校では、第三外国語として日本語を選択できる学校が増えている。現在、約 27 校において日本語が選択可能であることが確認できるが、公の統計が存在しないため、全国には約 40-50 校存在すると考えられる。

高等教育

現在、ストックホルム、ヨーテボリ、ルンドの 3 大学に日本語を主専攻科目とする日本（語）学科、選択必修

科目とする東アジア学科がある。また、ダーラナ大学では 2007 年より日本語を主専攻科目とする日本語学科が開設され、2012 年秋より学士号が取得できるようになったが、現在では、web ベースの遠隔コースのみとなっている。その他、日本語を選択科目としている大学（リンショーピング大学、リンネ大学、ストックホルム王立工科大学、ヨーテボリ商科大学、ルンド大学工科大学）もある。大学の定員数は近年増加の傾向にあるが、志望者のほとんどを受け入れるシステムを導入したストックホルム大学以外において、日本（語）学科の競争率は、人文科学系の科目の中でも比較的高い。

大学レベルでは、従来人気の高かったドイツ語、フランス語の人气が低迷し、中国語、アラビア語の人气が高まっており、日本語も比較的高い人気を保っている。

学習動機は多岐に渡るが、日本文化、ポップカルチャー、親戚・友人関係などが大きな割合を占めている。スウェーデンと日本の関連企業に就職を希望して、学習を始める者もいる。日本学科や東アジア学科の学生は日本語だけでなく、日本の文化、政治、経済や歴史に興味を示す学生も多い。経済学や工学と並行、あるいは、前後して学習している者も目立つ。経済や工科系の学生で日本語を習得した者は就職率が高いため、夜間のコースでは工科系の学生も多い。留学に関しては、多くの大学が日本の大学と交換留学協定を結んでおり、交換校の増加、奨学金の獲得、履修単位の振替など、留学プログラムの充実を目指している。

学校教育以外

生涯教育に携わっている機関による週 2、3 時間のコースが主で、日本の文化や言語そのものに興味を持っている者がその参加者の多くを占めている。特に、日本のマンガやアニメ、また、伝統的なスポーツ、映画、音楽などへの関心が若年層の学習動機とつながっている場合が多い。特に E メールやインターネット、またソーシャルメディア（フェイスブック、ユーチューブ、ツイッターなど）の普及が著しい現在、これらを通じて日本語に触れる機会も増えている。中学生から社会人、年金生活者に至るまで、学習者の年齢層は幅広く、日本人のパートナー又は配偶者、日本と取引のある企業に勤務している学習者も増えている。また、日本のポップカルチャーなどに関心のある子ども・若年層を対象にした日本語コースが増加している。

3.教育制度と外国語教育

教育制度

教育制度

1-9-3 制。

就学前クラス：1 年（6～7 歳）

初等教育： 基礎学校 1 年から 6 年（7～12 歳）

中等教育前期： 基礎学校 7 年から 9 年（13～15 歳）

中等教育後期： 高等学校 1 年から 3 年（16～18 歳）

高等教育： 大学 1 年から 5 年（19～23 歳、3-4 年で学士号、4-5 年で修士号 を取得）

義務教育は基礎学校の 9 年間。 ※就学前クラスは 2018 年より義務化された。

教育行政

初等（就学前教育も含む）、中等教育機関は中央政府の行政機関である学校庁の管轄下にあるが、大学は高等教育庁の管轄下にある。教育省は教育政策の策定をする。

言語事情

国語はスウェーデン語。

1960 年代からの移民の増加に伴い、さまざまな言語を母語とするグループが存在する。その中でもイラク戦争やシリア内戦の影響で多数の難民の受け入れによりアラビア語を話すグループ（20 万以上）が最大グループであり、次いで、フィンランド語を話すフィンランド人（約 20 万）が第 2 位を占める。その他、スウェーデン北部のラップランド地方に、古くから少数民族のサーミ人が 2 万人居住している。現在、約 30～40% のサーミ人がサーメ語を使用していると推定される。スウェーデンにおける英語（第一外国語）の普及率は極めて高く、スウェーデンで英語教育を受けた人の多くは流暢な英語を話す。

外国語教育

1950 年頃まで、第一外国語はドイツ語であったが、現在の第一外国語は英語であり、遅くとも基礎学校の 4 年生から英語が教えられる（学校の方針でそれ以前から導入するところもある）。基礎学校 6 年より、第二外国語としてドイツ語、フランス語、スペイン語、中国語（2014 年秋から導入。下記参照。）から選択できる。学校によって、その他の言語も学ぶことができるが、必ずしも生徒のニーズに応えられるわけではなく、その他言語の学習比率は全生徒数の約 15%にとどまる。高校 1 年より、選択するプログラムによって多少異なるが、第三外国語を、ドイツ語、フランス語、スペイン語、イタリア語、ロシア語、中国語、日本語、ポルトガル語などの中から選ぶことができる。

2012 年、ビョルクランド教育大臣（当時）は、中国語教育の義務教育課程への導入を 2014 年より実施する意向を発表した。これに伴い、中国語を他の第二外国語（ドイツ語、フランス語、スペイン語）と同等に扱い、基礎学校 6 年より選択が可能となった。しかし、教員数の不足などが課題となり未だ全面的な実施には至っていない。

外国語の中での日本語の人気

ルンド大学における語学教育入学志望者数の統計調査によると、日本語を希望する学生数は教師など、直接職業に結び付く言語（スウェーデン語、英語、フランス語、スペイン語など）に比肩する数字を示している。

大学入学の際の日本語の扱い

基本的に大学入試は存在せず、高校の成績などが大学選考基準である。日本語科への入学の可否の基準については、大学によって異なる。

ストックホルム大学では、2006 年に「TEKNISK PLATSGARANTI」制度を導入し基本資格を有する者は誰でも入学が可能である。「TEKNISK PLATSGARANTI」制度導入以来、日本学科への入学志望者は毎年 150～170 名である。但し、入学志望者が教室や教師の数より大幅に上回るようであれば、入学が担保できない場合もある。

4. 学習環境

教材

初等教育

日本語教育の実施は確認されていない。

中等教育

『日本語初歩』国際交流基金日本語国際センター（凡人社）や『新日本語の基礎』海外技術者研修協会（スリーエーネットワーク）を使用して日本語教育を始める高校が多いが、1990年代の半ばから開始された高校改革で、会話授業の要請が高まり、適当な教科書が模索されている。

『みんなの日本語』スリーエーネットワーク（スリーエーネットワーク）や『JAPANESE FOR YOUNG PEOPLE』国際日本語普及協会（講談社 USA）を採用している高校も存在する。

高等教育

学部や教師自身で開発した教材と市販の教科書を併用しているところが一般的である。市販の教材では、『SITUATIONAL FUNCTIONAL JAPANESE 1, 2, 3』筑波ランゲージグループ（凡人社）、『BASIC KANJI BOOK』加納千恵子ほか（凡人社）、『INTERMEDIATE KANJI BOOK』加納千恵子ほか（凡人社）、『日本語初歩』（前出）、『みんなの日本語』（前出）、『初級日本語げんき』坂野永理ほか（ジャパントイムズ）、『テーマ別中級から学ぶ日本語』松田浩志ほか（研究社）、『日本語中級 J301』土岐哲ほか（スリーエーネットワーク）などが使用されている。市販の教材は、時間数やレベルなどで適切なものが少なく、独自の教科書の開発が望まれている。

<使用されている教材の具体例>

ストックホルム大学の場合：

初級：『初級日本語げんき I II』（前出）、"Kanjablad I II"（大学独自教材で、『げんき I II』に含まれる漢字に約 400 字を追加したもの。）

中級：『中級日本語カルテット 1 2』、"Kanjablad III IV"（大学独自教材で、『カルテット 1 2』に含まれる漢字に追加したもの。現在、作成中。）新聞記事・エッセイ、短編小説など（3 学期目に特に使用するもの）

Hasegawa, Yoko (2015). *Japanese: A linguistic introduction*. Cambridge University Press.

Hasegawa, Yoko, ed. (2018). *The Cambridge handbook of Japanese linguistics*. Cambridge University Press.

上級：『AN INTRODUCTION TO CLASSICAL JAPANESE』駒井明ほか（凡人社）

『自然な日本語を教えるために 認知言語学をふまえて』池上嘉彦・守屋三千代編著（ひつじ書房）

会話・実用日本語の授業では、基本的に教師作成の教材が使用され、市販の教科書は使用されていない（中級以降）。

ヨーテボリ大学の場合：

初級：『初級日本語げんき I II』（前出）、『Kanji Look and Learn』（ジャパントイムズ）、Hasegawa, Y. (2014). *Japanese: A Linguistic Introduction*. Cambridge: Cambridge University Press. 『まるごと 日本のことばと文化 入門 A1 りかい』国際交流基金編著（三修社）

中級：『上級へのとびら』岡まゆみほか（くろしお出版）、『上級へのとびら きたえよう漢字力 上級へつなげる基礎漢字 800』岡まゆみほか（くろしお出版）、『上級へのとびら これで身につく文法力』江森祥子ほか（くろしお出版）、教師作成の教材

上級（3 年次）：『はじめての人の言語学 -ことばの世界へ』上山あゆみ（くろしお出版）、『「ボクハウナギだ」の文法』奥津敬一郎（くろしお出版）、教師作成の教材

ルンド大学の場合：

1 年：『初級日本語げんきⅠ・Ⅱ』（前出）、Hasegawa, Yoko (2015) *Japanese: A linguistic introduction*. Cambridge University Press.

2 年：『上級へのとびら』岡まゆみ、筒井通雄ほか（くろしお出版）、『きたえよう漢字力：上級へつなげる基礎漢字 800』（くろしお出版）、『はじめての人の言語学』上山あゆみ（くろしお出版）、『象は鼻が長い』三上章（くろしお出版）、

修士：最近では以下のハンドブックズシリーズをよく使用している。

<https://www.degruyter.com/serial/hjll-b/html>

学校教育以外

初級から中級まで『JAPANESE FOR BUSY PEOPLEⅠⅡⅢ』（前出）が使用されている。中級では、日本の新聞や雑誌など、さまざまな教材が使われている。

IT・視聴覚機材**ストックホルム大学の場合：**

学習管理システム（LMS）である itslearning（ストックホルム大学での呼称は ATHENA）を使用。初級では、これを使用し文法や漢字、語彙の小テストを週 1 回のペースで行なっているほか、練習問題などをアップロードすることで、学生が自己診断テストを行うことができるようにしている。中級以降も、小テストのための利用の他、学生による課題の提出と教師によるコメント記入のためにも活用されている。また教師作成の教材は基本的に ATHENA 上にアップロードされており、講座に登録された学生が自由にアクセスできるようになっている。なおレベルを問わず、登録学生向けの連絡は全てこの ATHENA を通して行われている。

また近年、遠隔ビデオシステム（Zoom）を利用し、授業枠内・外において日本の大学生との交流を試みている。

ヨーテボリ大学の場合：

大学全体で Canvas という名の学習ポータルサイトを導入しており、日本語コースでも、試験・小テストの実施、課題提出とコメント記入、授業、連絡などに活用している。近年は、ネットコース、論文指導、会議などに Zoom（Web 会議ツール）を利用することが多い。

教材、あるいは卒業論文や修士論文の資料として、「青空文庫」、国立国語研究所の「少納言」「中納言」などのコーパスを使用している。

ルンド大学の場合：

日本語コースが開講されている言語文学センターでは、Canvas というポータルサイトが導入されており、学生は、パソコンや携帯電話などから時間割、大学や教師からの連絡、掲示板、授業に使用される資料などにアクセスすることができる。

5.教師

資格要件

初等教育

日本語教育の実施は確認されていない。

中等教育

高校教師の資格を得るためには、最低、専門 2 教科について資格が必要である。大学の教職課程（4 年半－5 年半）を経て、免許（Lärarexamen）を取得するのが通常であるが、大学の専門課程で必要な単位を取得後、教育学・教育実習を含む一般教養コース（AUO）で 60 ポイント（単位）を取得して資格を得る例も多い。日本語を教えるためには、日本語関係教科を大学で 60 ポイント以上取得するのが望ましい。

高等教育

大学には、教授、准教授、講師などの教職がある。准教授以上のポストを得るためには、博士号を持っていることが最低基準となっている。日本語教育の教師は日本学や言語関係を専攻した者が多く、日本語を母語とする教師は、大半が日本語教師養成コースを修了している。

学校教育以外

特になし。スウェーデン語で日本語を教授することができ、教授経験があれば望ましい。

日本語教師養成機関（プログラム）

- JF・日本語教師研修（短期・長期）プログラム
- 東海大学ヨーロッパ学術センター（コペンハーゲン郊外）主催教授法などの研修

日本語のネイティブ教師（日本人教師）の雇用状況とその役割

ストックホルム大学の場合：

専任講師 2 名、2 名ともフルタイム。（近年、修士以上の学位が専任講師に求められている。現在雇用されている専任講師のうち、1 名は修士号、1 名は博士号所持者。）日本人講師は基本会話と漢字のクラスを担当しているが、博士号所持者は、文法・読解クラス担当のほか、卒業論文指導にもあたっている。

ヨーテボリ大学の場合：

フルタイムのネイティブ上級講師（博士号取得者）1 名、ネイティブ講師（修士号取得者）1 名。

（明確な役割分担はないものの、文型・漢字・会話・作文は主にネイティブ教師が担当。上級講師は翻訳、学士論文・修士論文の指導も担当している。年により、日本留学関連の単位交換認定責任者や、学科内の評議会委員などの事務的な役職を兼任する場合もある。）

ルンド大学の場合：

2024 年 4 月現在、准教授 1 名、上級講師 1 名、講師 2 名、博士課程の大学院生の計 5 名（全て日本語母国語話者）で構成（現在は非常勤講師なし）。准教授はフルタイム、上級講師と講師はほぼ 50%の勤務。大学院生は約 20%の割合で授業を受け持っている。

明確な役割分担はないが、博士号保持者である准教授と上級講師が（他の学科の言語学研究者とともに）論文指導にあたっている。

教師研修

初等教育

日本語教育の実施は確認されていない。

中等教育

高校の教師に対する研修は、特に重視されてきているが、日本語教師は人数が少ない上、スウェーデン国内に散在しているため、国内で研修が行われたことはない。そのため、日本語教師は JF による研修や他のヨーロッパの国で行われている会議や講習に頼らざるを得ない。

高等教育

日本語教師のみを対象にした教師研修は行われていない。スウェーデンの大学で数年以上教鞭をとっている日本語教師の多くは、JF の日本語教師研修に参加している。

ストックホルム大学：

数年前までは、大学教育センターで研修（1-3）が行われていたが、現在は、各学部で行われるようになった。日本語教授法の講座は存在せず、教育全般に関する講座が存在する。レクトル（准教授）のポストに就くには、講座 1 と 2 を受講しなければならない。

ヨーロッパ日本語教師会や JF ケルン日本文化会館などから送られてくるオンライン講習の案内を受け、教師が個人的に参加する場合がある。

なお、不定期ではあるが学科内の教師間で、日本語文法・教授法についての自主的な研究会が開かれている。学部内で（日本のみならず、中国学、韓国学、中東学に携わっている）教師の研修も不定期的に行われている。

ヨーテボリ大学の場合：

上級講師以上には、ヨーテボリ大学の 3 つの教師向け高等教育学のコースを受講済みであることが義務付けられている。それ以外にも、教師全体を対象とした非日本語関連の学内講習、ならびにスウェーデン日本語教師会や JF ケルン日本文化会館などから案内される日本語関連のオンライン講師に教師が個人的に参加する場合がある。

ルンド大学：

特別な日本語教師養成コースは設置されていないが、ルンド大学のヘルシンボリキャンパスの教員養成課程の学生（高校の英語と日本語の教員資格）が、日本語学科で教育実習を数回行い、日本語科の教員による指導を受けたことがある。2006 年には日本から講師を招き、教授法関係のワークショップを開催した。これにはデンマーク、ノルウェーを含めた他大学の日本語関係者も参加した。以来、同様のワークショップが不定期的に開催されたが、2013 年以降、開催されていない。

東海大学ヨーロッパ学術センター（コペンハーゲン郊外）：

定期的に日本語教授法ワークショップを企画し、北欧の高等教育機関に所属する教師を対象とした研修を行っ

ている。

学校教育以外

現職の日本語教師対象の研修は確認されていない。

現職教師研修プログラム（一覧）

- JF・日本語教師研修（短期・長期）プログラム
- 東海大学ヨーロッパ学術センター（コペンハーゲン郊外）主催教授法研修

6.教師会

日本語教育関係のネットワークの状況

北欧 5 か国（デンマーク、スウェーデン、ノルウェー、フィンランド及びアイスランド）が共同運営する NIAS（Nordic Institute of Asian Studies）がある（本部：デンマーク・コペンハーゲン大学アジア研究所内）。NIAS には、日本専門研究員が 1～2 名勤務し、研究活動、ニュースレター発行、講演会実施などを中心に北欧 5 か国における日本を含めたアジア研究のコーディネートを行っている。

またこのほか、NAJAKS（Nordic Association for Japanese and Korean Studies）という北欧の日本・朝鮮学に従事する者のネットワークがあり、3 年毎に学会が開催されている。

さらに、日本語教育のネットワークとしては、ヨーロッパ日本語教師会があり、スウェーデンからは教師が個人資格で参加している。また、2007 年よりスウェーデン在住の日本語教師が中心となって、メーリングリストを利用して情報交換を行っている。

最新動向

ストックホルム大学の場合：

- 2016 年、大学のスタッフが日本語能力試験実施のための NPO を立ち上げ、翌年からは、夏の試験を実施しているほか、試験に関する情報をホームページ上（<https://sajp.info/>）で発信している。また試験実施にあたっては、ストックホルム大学が会場を提供している。実施開始以来、毎年受験者数が順調に増加している。ただし、2020 年度夏以降の試験は、新型コロナウイルスのため中止が続いている。スタッフ不足もあり、2022 年、2023 年も実施できず、2024 年から再スタートする。
- 2018 年ヴェネツィアで開催された日本語教育国際研究大会（ICJLE）の PhD ワークショップに委員を派遣したほか、講師としてストックホルム大学教師が参加。
- 2020 年 2 月ヴェネツィアで行われたヨーロッパ日本語教師会サミットにストックホルム大学の教師が参加。スウェーデンにおける日本語教育事情を報告。
- 2020 年春から言語教育学科（Department of Language Education）と協力し、遠隔タンドム活動を開始。授業枠内外での取り組みとして試験的に運営・発展させている。

ヨーテボリ大学の場合：

- 2022 年 9 月に大阪大学名誉教授を短期客員研究者として招へい。

- 2022 年 9 月に大阪大学名誉教授を講師とした役割語と翻訳に関するワークショップを対面およびオンラインで開催。
- 2022 年 9 月に村上春樹作品をテーマとした役割語と翻訳に関する講演会を対面開催。講演者は大阪大学名誉教授、ヨーテボリ大学上級講師以上（対面参加）及び藤女子大学教授（オンライン参加）。

ルンド大学の場合：

- 2022 年秋学期より博士課程（日本語言語学専攻）開始。

[教師会・学会一覧へ](#)

7.日本語教師派遣情報

国際交流基金からの派遣

国際協力機構（JICA）からの派遣

JF、JICA からの派遣は行われていない。

その他からの派遣

一部の大学では、文際交流協会からの 1 年ごとに会話アシスタントの派遣を受け入れていたが、交換校からの受け入れの要望が増加したため、文際交流協会からの派遣は停止された。派遣停止以降、スタッフ・学生交換が、会話アシスタントの代替として活用されている。

8.シラバス・ガイドライン

統一シラバス、ガイドラインなどはない。

各大学のガイドラインは次のとおり。

- [ストックホルム大学日本語学科ガイドライン](#)
- [ヨーテボリ大学日本語学科ガイドライン](#)
- [ルンド大学日本語学科ガイドライン](#)

9.評価・試験

評価・試験の種類

共通の評価基準や試験はない。

ストックホルム大学の場合：

2017 年から日本語能力試験が本学を会場として実施され始めたこともあり、学生に受験するよう推奨している。

本学科における試験についてはシラバス・ガイドラインを参照。コースによっては CEFR を意識した評価を取り入れている。

ヨーテボリ大学の場合：

- ・1~2 学期目： 筆記試験・課題提出
- ・3~4 学期目： 筆記試験・口頭試験・課題提出
- ・5 学期目： 筆記試験・課題提出・論文提出・口頭発表

5 学期目の学生の学習到達度の目標として日本語能力試験 2 級をあげており、授業の中に練習問題を組み込んでいる。修士課程では日本語能力試験 1 級を目安にしている。

ルンド大学の場合：

学習達成度の評価は以下の通りである。

- ・1 年：口頭・筆記試験
- ・2 年：口頭・筆記試験及び作文・宿題の提出、レポート、論文の提出
- ・修士：口頭発表、レポート、論文の提出

10.日本語教育略史

1956 年	ウプサラ大学で日本語講座開始
1963 年	ストックホルム大学の東洋学部に、中国、インド、アラビア学科に加えて日本学科が新設。これに伴い、主たる専攻科目として日本語講座開始
1969 年	ストックホルム大学東洋学部日本学科に大学院課程開設
1974 年	ヨーテボリ大学東洋語学科（現東洋語・アフリカ語学科）が設立されると同時に、日本語セクションで日本語講座開始
1980 年	ルンド大学東アジア言語学部が設立され、日本学科で日本語講座開始
1983 年	ストックホルム大学東洋学部に東アジア学科が開設
1986 年	ウメオ（スウェーデン北部）のオストラ高校において、中等教育で初めて日本語が第三外国語として選択可能となる
1988 年	ストックホルムのオストラ・レアル高校、フランス・シャウタウー高校で日本語教育開始
1992 年	ヨーテボリ大学東洋語・アフリカ語学科に大学院課程が開設

1990 年代	1990 年代半ばより、日本語を選択できる高校が地方にも広がる
1996 年	ルンド大学東南アジア語学部日本語学科に大学院課程設立
2005 年	スキュールップ（スウェーデン南部）のマクリーン中学校で初めて日本語が第三外国語として選択可能となる
2007 年	ダーラナ大学人文科学・メディア学部日本語学科が開設
2014 年	第一回スウェーデン学生日本語弁論大会開催
2016 年	ストックホルム大学東洋学部日本学科がストックホルム大学アジア・中東・トルコ学部日本学科に改称
2017 年	日本語能力試験開始（ストックホルム）
2021 年	ストックホルム大学アジア・中東・トルコ学部のトルコ学研究所（SUITS）が他の学部にも所属することになり、ストックホルム大学アジア・中東学部日本学科に改称
2022 年	ストックホルム大学アジア・中東学部がメインキャンパスに移設された。 （1993 年にメインキャンパスから Kräftriket という南キャンパスに移されたが、2022 年にメインキャンパスに戻された）